

第1回長崎市上下水道事業運営審議会 会議録

- 【所属名】 上下水道局総務課
【会議名】 第1回長崎市上下水道事業運営審議会
【日 時】 令和7年7月30日（水）14時00分～16時00分
【場 所】 議事1及び2 長崎市役所5階 第1委員会室
議事3 浦上浄水場、新浄水場建設予定地
【議 事】 1 辞令交付
2 上下水道事業の経営状況について
3 現地視察

【議事録】

1 開会

- ・事務局において資料の確認

2 議事

「1 辞令交付」

- ・委員の互選により、会長及び副会長を選任。

「2 上下水道事業の経営状況について」

〔事務局説明〕

- ・議事に係る資料について、事務局から説明。

〔質疑応答〕

委員

料金改定のスケジュール感について、審議会ではどのくらいの期間を見ているのか、また何年度からの料金改定を想定しているか。

理事者

この審議会においては、1年半ぐらいの期間をかけて、最低でも4回、必要に応じてもっと回数を重ねることになると思うが、その期間で答申という形でご意見をいただくことを考えている。具体的なスケジュールについては、次回の審議会で示す予定。

委員

今回の改定は、下水道も含めて行うのか。

理事者

料金改定の検討は水道のみを考えている。下水道に関しても令和13年度に1億円程度の赤字が発生する見込みであり、経営が厳しいのは同じだが、累積資金残高にある程度の余裕があることや、市中心部におけるスタジアムシティや長崎駅の開発により下水道使用

量の収益が想定より上がっている。できる限り市民負担を急激に上げたくないということもあるため、まずは直近の課題として水道料金の改定を行い、その後の状況を見ながら下水道については別途検討していくという形で取り組んでいくことを考えている。

会長

今後の審議会は水道の料金改定が主眼であるということは承知した。そのバックグラウンドとして今後の収支計画が示されているが、この中で資本的支出の建設改良費が年によって大きく見積もられているのが資金残高減少の要因になっているかと思うが、この建設改良費の具体的な内容について教えてほしい。

理事者

建設改良費が多くなっているのは、長与町との共同による新浄水場建設が主な要因であるが、新浄水場を共同で建設することにより、国からの補助や有利な財政措置を受けるようにしている。現在の浦上浄水場は、昭和20年代にできた施設で老朽化が進んでおり、更新が必要な状況である。

委員

包括的民間委託（ウォーターPPP）の推進については、いつ頃から実施する予定か。

理事者

長崎市が行うのは、下水道事業のPPPである。これを導入しなければ污水管改築に係る国からの支援を得られないという状況であり、令和9年度に事業者を公募する段階まで行っておけば、PPPの導入ができていると判断されるということであるため、令和9年度に公募ができる状態になることを目標に、現在市場調査等を行っている。

委員

上水道については、民間に委託してしまうと料金が上がり続けてしまうのではないかという話もあるため、そういうことは無いという理解で良いのか。

理事者

水道については、人の口に入るものであるため、長崎市が責任を持って送り出したいという思いがある。下水道がどうしてもよいということではないが、基本的に下水道については、放流される水質が維持できれば問題ないという性質のものであるが、水道については、例えば外国で民間移譲したものの、料金の値上げか水質維持かの選択を迫られ、結局は公営に戻ったという事例もある。市民感情としては、民間に委ねてほしくないという声を多く聞いている。そのため、水道は、民間への全面的な委託は考えていない状況である。

委員

人口減少により高齢者がますます増えて若者が減っていく中で、生活の苦しい高齢者により多くの負担をしてもらうことが想定される。物価なども上がっている中で、料金値上げについて市民の理解を得るための取り組みについて聞かせてほしい。

理事者

水道料金を上げる上げないということについては、近年、全国的に上下水道の破損事故が頻発する中で、手間暇をかけて維持しないと安全な水道は届かないという認識が市民の中でかなり広まってきているため、料金改定についても、やむを得ないという理解は得られつつあると考えている。ただし、水は使わないという選択肢がないため、生活弱者や使用量が少ない少人数世帯などへの負担が過度に大きくならないよう、今回は料金水準だけでなく料金体系についても合わせて見直しを行う必要があると考えている。

会長

非常に大事な指摘であると思う。1戸当たりの平均使用水量が下がっているというのは、人口減少とはまた別の課題であり、水を使いにくいということでもあると思う。インフラの維持ということも重要だが、市民の皆さんが潤沢に水を使える環境を維持するということも重要で、料金はそこに直接関係してくるものである。単に料金を上げる下げるという話ではなく、より水を利用しやすい環境を作るというきっかけとなるような検討も必要ではないか。インフラの整備ができないという状況も困るため、そこを両立するような仕組みについて、今後皆さんと意見交換させていただきたいと考えている。

「3 現地視察」

- ・浦上浄水場及び新浄水場建設予定地を視察。

〔閉会〕